

1.3.10.24
サンケイ

新競技場 整備費 300 億円

試算公表 会場周辺は縮小検討

下村博文五輪担当相は 23 日の参院予算委員会で、2020 年東京五輪の会場として 8 万人を収容する新国立競技場計画について、整備方針も示した。

新競技場の建物本体の費用は 1300 億円と見込まれているが、下村氏は国際公募で決まった流線形のデザインを忠実に実現すると

費用が膨らむと説明。「周辺（整備）については縮小する方向で考えたい」と述べた。自民党の山谷えり子氏への答弁。

現在の競技場は老朽化し大規模な国際大会を開く基準を満たしていない。新たに建て替える競技場は平成 31 年 3 月の完成を目指している。現在 5 万 4 千人の収容人数を 8 万人とする。